

恵み



第 39 号

令和 7 年 9 月 1 日

発行 聖マリアの園

〒853-0052

五島市松山町 706-3

(0959)72-6129

特別養護老人ホーム聖マリアの園 施設長 村上順子

今年の夏は酷暑で、私たちの体温と同じか、もしくは体温を超える地点もあるかと思えば、線状降水帯が通常の雨のように降り注ぎ、家屋はもちろん生活道路、農業ハウス等々の災害が後を絶たないくらいに頻繁に起こっている。この地球上での災害は年ごとに大きくなって人間が生きていくための手段が奪われつつあることも事実です。

そこで、今から十三年前にブラジルのリオデジャネイロで国際会議が開かれました。環境が悪化した地球の未来について、話し合うための会議でした。この会議が絵本化されたものを引用して皆様に分かち合いたいと思います。「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」

ここに集まった世界各国の代表者とあらゆる組織の代表者の皆様に深く感謝いたします。…(省略)…さて、わたしたちあわれな人類は、どんな未来を選ぶべきなのでしょう。…(省略)…私は皆さんに問いかけます。もしもインドの人たちが、ドイツの家庭と同じ割合で車を持ったら、この地球に何か起こるでしょう。わたしたちが息をするための酸素がどれだけ残るでしょうか。…(省略)…

今の文明は、私たちが作ったものです。私たちはもっと便利でもつ

と良いものを手にいれようと、さまざまなものを作ってきました。おかげで、世の中は驚くほど発展しました…(省略)…人たちより豊かになるために、情け容赦のない競争を繰り広げる世界にながら「心を一つに、みんないっしょに」などという話ができるのでしょうか。

誰もが持っているはずの、家族や友人や他人を思いやる気持ちは、どこに行ってしまったのでしょうか。…(省略)…人の命についてはどうでしょうか。素直に考えてみましょう。私たちは発展するためにこの世に生まれてきたわけではありません。この惑星に、幸せになろうと思つて生まれてきたのです。人生は短く、あつという間です。命より大事なものはありません。命は基本的なものです。しかし、必要以上に物を手に入れようと働きづくめに働いたために、早々に命がつかしてしまつたら…あくことなく物を手に入れ、モノを作り続けることが、今の社会を動かしています。もしこの動きがストップしたら、明らかにお金の流れがストップします。お金の流れがストップしたら、不景気という妖怪が一人一人を襲うでしょう。しかし世界を襲っているのは、実は欲深さの妖怪なのです。…(省略)…古代の賢人エピクロスやセネカ、そしてアイマラ民族は次のように言いました。「貧乏とは、少ししかもっていないことではなく、限りなく多くを必要とし、もつともつと欲しがることである」この言葉は、人間にとって何が大切かを教えています。…(省略)…

この地球環境が大きく変化しつつあるのは、私たち人間一人一人の責任も否めないと思う。

今回は、ムヒカ大統領の演説から引用させていただきましたが、考えさせられることがたくさんありました。もし手にとって読んでみたい方は(株)汐文社より出ていますのでお読みください。

